

様式第 2 号の 4－②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第 2 号の 4－①を用いること。

学校名	医療専門学校 水戸メディカルカレッジ
設置者名	社会福祉法人 北養会

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	https://hokuyoukai.jp/accounts/
収支計算書又は損益計算書	https://hokuyoukai.jp/accounts/
財産目録	法人本部に備え付けし、閲覧。 希望者には配布。
事業報告書	法人本部に備え付けし、閲覧。 希望者には配布。
事業報告書	法人本部に備え付けし、閲覧。 希望者には配布。

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
医療		医療専門課程	理学療法学科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3 年	昼	3188 単位時間／単位	1286 単位時間／単位	1002 単位時間／単位	900 単位時間／単位	0 単位時間／単位	0 単位時間／単位
			単位時間／単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
120 人		116 人	0 人	6 人	48 人	54 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） ・前年度の授業終了後に授業実施記録をもとに専任教員と担当講師とで協議し、次年度の授業計画（シラバス）を作成する。年度末に学科内会議にてすべての授業計画（シラバス）について審議する。これを新年度当初に学生に公表する。
成績評価の基準・方法
（概要） ・学修成果は、定期試験の成績及びレポート、技術習得状況、出席状況並びに臨床実習の成績等により科目担当教員が評定する。 ・学修の評価は、優（80 点以上）、良（70 点以上 80 点未満）、可（60 点以上 70 点未満）、不可（60 点未満）で評定し、可以上を合格とする。
卒業・進級の認定基準
（概要） ・進級は、当該学年の課程を修得した者に学校長が教員会議にて認定する。1 科目でも不可のある者は原則として進級を認めない。但し、臨床実習を除く、1 科目が未履修又は未修得の者は、教員会議の議を経て仮進級を認める場合がある。 ・卒業は、本校に定められた修業年限以上在学し、教育課程の全てを修得したものと認めた者に学校長が教員会議にて認定する。
学修支援等
（概要） ・学生の理解状況を勘案し、適時補習講義を実施する。 ・国家試験不合格者に対し、国家試験特別支援クラスを開講し、卒業後も資格取得をサポートする。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
36 人 (100%)	0 人 (0%)	33 人 (91.7%)	3 人 (8.3%)
（主な就職、業界等） 医療機関、社会福祉施設			
（就職指導内容） 各事業所から届く求人票を開示した。履歴書の添削指導を行い、面接練習を行った。			
（主な学修成果（資格・検定等）） 理学療法士国家試験受験資格			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
118 人	6 人	5.1%
（中途退学の主な理由） 意欲低下、成績不振、病気療養		
（中退防止・中退者支援のための取組） ・担任と定期的に面談を行っている。 ・学業・人間関係に関する悩みを抱える学生に対して、カウンセラーによる相談窓口を設けている。		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
医療		医療専門課程	言語聴覚療法学科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3 年	昼	2955 単位時間／単位	1560 単位時間／単位	60 単位時間／単位	480 単位時間／単位	0 単位時間／単位	855 単位時間／単位
			単位時間／単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
120 人		117 人	0 人	7 人	29 人	36 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） ・前年度の授業終了後に授業実施記録をもとに専任教員と担当講師とで協議し、次年度の授業計画（シラバス）を作成する。年度末に学科内会議にてすべての授業計画（シラバス）について審議する。これを新年度当初に学生に公表する。
成績評価の基準・方法
（概要） ・学修成果は、定期試験の成績及びレポート、技術習得状況、出席状況並びに臨床実習の成績等により科目担当教員が評定する。 ・学修の評価は、優（80 点以上）、良（70 点以上 80 点未満）、可（60 点以上 70 点未満）、不可（60 点未満）で評定し、可以上を合格とする。
卒業・進級の認定基準
（概要） ・進級は、当該学年の課程を修得した者に学校長が教員会議にて認定する。1 科目でも不可のある者は原則として進級を認めない。但し、臨床実習を除く、1 科目が未履修又は未修得の者は、教員会議の議を経て仮進級を認める場合がある。 ・卒業は、本校に定められた修業年限以上在学し、教育課程の全てを修得したものと認めた者に学校長が教員会議にて認定する。
学修支援等
（概要） ・学生の理解状況を勘案し、適時補習講義を実施する。 ・国家試験不合格者に対し、国家試験特別支援クラスを開講し、卒業後も資格取得をサポートする。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）

卒業者数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
33 人 (100%)	0 人 (0%)	18 人 (54.5%)	15 人 (45.5%)
(主な就職、業界等) 医療機関			
(就職指導内容) 各事業所から届く求人票を開示した。履歴書の添削指導を行い、面接練習を行った。			
(主な学修成果 (資格・検定等)) 言語聴覚士国家試験受験資格			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
110 人	0 人	0.0%
(中途退学の主な理由) 進路変更、意欲低下、成績不振、家族介護		
(中退防止・中退者支援のための取組) ・担任と定期的に面談を行っている。 ・学業・人間関係に関する悩みを抱える学生に対して、カウンセラーによる相談窓口を設けている。		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
医療		医療専門課程	看護学科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3 年	昼	3000 単位時間／単位	1965 単位時間／単位	0 単位時間／単位	1035 単位時間／単位	0 単位時間／単位	0 単位時間／単位
			単位時間／単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
120 人		113 人	0 人	9 人	54 人	63 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） ・前年度の授業終了後に授業実施記録をもとに専任教員と担当講師とで協議し、次年度の授業計画（シラバス）を作成する。年度末に学科内会議にてすべての授業計画（シラバス）について審議する。これを新年度当初に学生に公表する。
成績評価の基準・方法
（概要） ・学修成果は、定期試験の成績及びレポート、技術習得状況、出席状況並びに臨床実習の成績等により科目担当教員が評定する。 ・学修の評価は、優（80 点以上）、良（70 点以上 80 点未満）、可（60 点以上 70 点未満）、不可（60 点未満）で評定し、可以上を合格とする。
卒業・進級の認定基準
（概要） ・単位は、当該科目を履修し、学修評価で合格した者に学校長が教員会議にて認定する。 ・卒業は、本校に定められた修業年限以上在学し、教育課程の全てを修得したものと認めた者に学校長が教員会議にて認定する。
学修支援等
（概要） ・学生の理解状況を勘案し、適時補習講義を実施する。 ・国家試験不合格者に対し、国家試験特別支援クラスを開講し、卒業後も資格取得をサポートする。

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）

卒業者数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
40 人 (100%)	1 人 (2.5%)	39 人 (97.5%)	0 人 (0%)
(主な就職、業界等) 医療機関			
(就職指導内容) 各事業所から届く求人票を開示した。履歴書の添削指導を行い、面接練習を行った。			
(主な学修成果 (資格・検定等)) 看護師国家試験受験資格、准看護師試験受験資格、 保健師学校養成所・助産師学校養成所の受験資格			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
116 人	3 人	2.6%
(中途退学の主な理由) 進路変更、意欲低下、成績不振、経済的理由、病气療養		
(中退防止・中退者支援のための取組) ・担任と定期的に面談を行っている。 ・学業・人間関係に関する悩みを抱える学生に対して、カウンセラーによる相談窓口を設けている。		